

淀川水系流域委員会

平成26年度進捗点検結果説明資料 【利用(木津川)】

平成27年 12月 22 日

近畿地方整備局

	点検項目	観 点	指 標	平成26年度 進捗	本文頁
1	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況(水面利用)	舟運の取り組み内容・水制工整備数	該当無し	P.292
2			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当無し (河川環境と重複)	P.293
3		川の安全利用施策の実施状況	水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数	有り	P.294
4		「川に活かされた利用」の実施状況	環境学習などの実施内容・回数	有り	P.296
5		陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況(川らしい河川敷利用)	河川保全利用委員会の取り組み内容・回数	有り (河川環境と重複)	P.299
6			違法行為の是正内容・不法耕作面積	有り (河川環境と重複)	P.302
7	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備状況	バリアフリー化の内容・実施箇所数	進捗無し (人川と重複)	P.306
8			水辺の整備内容	有り	P.308
9			小径(散策路)の整備内容・延長	進捗無し (人川と重複)	P.309
10			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗無し	P.311
11			ホームレス対応内容・確認数	有り	P.312
12	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み状況	三川合流部の拠点の整備内容	進捗有り (人川と重複)	P.316
13			歴史文化と調和した河川整備内容	該当無し	P.317
14			水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	有り	P.318

	点検項目	観 点	指 標	平成26年度 進捗	本文頁
15	水源地域の活性化	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数	有り (人川と重複)	P.325
16			ダム周辺の施設整備内容	進捗無し	P.330
17			湖面活用促進の取り組み内容・活用数	有り	P.331

川らしい利用の促進

【観点】川の安全利用施策の実施状況

「指標」水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数

【水難事故防止の取り組み事例(広報媒体の事例)】



【水難事故防止の取り組み事例】

【淀川河川事務所】



淀川右岸河川敷(淀川区)



奈良市立 左京小学校



木津川右岸(開橋上下流)



淀川右岸(摂津市)

河川レンジャー活動にあわせて小中学生、一般を対象に川での注意点や流されたときの対処法、ライフジャケットの重要性やスローロープによる救助法を実際の川やプールで体験させながら安全指導を実施。万一の応急手当に関する知識・技術習得のための講習なども行っている。また、河川レンジャーによる「淀川の安全利用への影響確認」を実施。“一般の方が河川を利用する際に安全な利用に影響を与えるような事象”について、河川レンジャー等のネットワークを活用しながら情報を収集、整理し、河川レンジャー活動へ活用すると共に淀川河川事務所へ提供した。木津川下流では、5回実施している。

【木津川上流河川事務所】



河川レンジャー活動において、小学生とその保護者を対象に、ライフジャケット着用方法、着衣のまま川に入ったときの動きにくさ、川の特長(急に水深が深くなる、流速が急に変わる)の体験を通じて水難事故防止の啓発を行った。

川らしい利用の促進

【観点】川の安全利用施策の実施状況

「指標」水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>平成26年度は20件実施し、内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> •わがまち防災スクール:淀川で河川レンジャーと連携し、中学生を対象に、災害(水害)発生時の避難行動啓発と共に、万一の水難事故発生時の応急手当に関する知識・技術習得のための講習などを行った。(参加者918名)(淀川河川事務所) •木津川魚とり:木津川本川で河川レンジャーと連携し、親子を対象に河川の体験学習会・親水体験と共にライフジャケット装着指導を行った。(参加者413名)(淀川河川事務所) •水辺の安全講習出前講座:淀川で河川レンジャーと連携し、木津川沿川の小学校へ出前講座を実施。川の危険箇所説明、ライフジャケットの必要性、スローバックなどの陸上から行う救助方法、淀川モバイルネットの活用術などを講義する「川の安全教室」の後、プールで「着衣泳実習」「ライフジャケット着用体験」の体験学習を実施。知識と体感による安全利用啓発を行った。(参加者67名)(淀川河川事務所) •淀川の安全利用への影響確認:平成25年の台風18号に続き、平成26年の台風11号出水を受け、淀川河川事務所による河川管理施設についての重点的な被災状況調査の調査実施に併せて、河川レンジャーによる「淀川の安全利用への影響確認」が実施され、安全利用に影響を与えるような事象について情報収集し、河川レンジャー活動へ活用すると共に淀川河川事務所への提供を行った。(淀川河川事務所) •河川レンジャー活動において、小学生とその保護者を対象に、ライフジャケット着用・着衣のまま川に入ったときの動きにくさ・川の特性(急に水深が深くなる、流速が急に変わる)などの経験を通じた啓発を行った。(参加者数89名)(木津川上流河川事務所) •「猪名川河川愛護セミナー」において、参加された親子約250人に対し河川利用の啓発冊子等を用いて河川水難事故に関する啓発を行った。(猪名川河川事務所) •野洲川において、注意喚起看板の更新及び河川巡視時における口頭による注意喚起を行った。(琵琶湖河川事務所) 	<p>実技講習や川の利用者への防災情報の提供等を通じて、水難事故防止のための活動が着実に行われている。</p> <p>今後も引き続いてそれらの取り組みを進めていく必要がある。</p>

川らしい利用の促進

【観点】「川に活かされた利用」の実施状況

「指標」環境学習などの実施内容・回数

【環境学習の事例】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では 河川レンジャーと連携し、募集形式、学校との連携・出前、地域からの要請に応じて河川環境を勉強・体験する場を設けている。淀川流域の河川の概況、特徴や歴史、ゴミ問題などを含め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりをつくり、守り、育てる取り組みを進めている。木津川下流では、4回実施している。

淀川河川レンジャーホームページ

<http://www.river-ranger.jp/index.php>



城陽市立 古川小学校



木津川右岸(開橋上下流)



淀川右岸(十三干潟)

【木津川上流河川事務所】



木津川上流河川事務所管内では、上野生涯学習会議と連携し水生生物調査等の出前講座を行っており、H26年度は木津川と服部川で計2回実施した。また、レンジャーとの連携においても、自然観察、水生生物調査等の環境学習を14回実施した。

また、地元NPO法人、河川協力団体や国土交通省、三重県などで作る実行委員会が主催し、平成26年6月1日を中心に名張市内全域において名張クリーン大作戦2014を実施した。名張市民4,712人が参加し、合計5,117キロものゴミを回収した。

川らしい利用の促進

【観点】「川に活かされた利用」の実施状況

「指標」環境学習などの実施内容・回数

進捗状況	点検結果														
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>①住民・住民団体(NPO等)や河川レンジャー等と連携した環境学習を行っている。平成26年度に実施した主な事例を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猪名川河川事務所管内では外来植物の現状及び対策活動の状況や対策方法について、行政や市民、河川協力団体、様々な活動主体の間で情報共有を行うことを目的として、外来植物対策勉強会を1回実施した。 ・淀川河川事務所管内では、河川レンジャーの活動を通じて、地域住民等を対象とした淀川流域の自然観察や防災学習を流域の小学校、中学校に対し出前講座を30回実施した。講座では、淀川流域の河川の特徴や歴史、ゴミ問題など環境について説明した。 ・木津川上流河川事務所管内では、上野生涯学習会議と連携し計2回水生生物調査を実施した。また、河川レンジャー活動において、地域の住民等を対象に自然観察、水生生物調査等の環境学習を14回実施した。 ・琵琶湖河川事務所管内では野洲川河口部のヨシ帯再生事業のモニタリング調査を河川レンジャーの調整により春と秋の年2回地元中学校と連携して実施している。 平成26年度は実施した調査について環境学習の成果として、2月に「野洲川ミニフォーラム」で地元中学校が発表した。 <p>②水辺の川らしい利用の啓発に関する主な事例としてクリーン作戦が実施されている。以下に参加者の経年変化を示す。 平成26年度は、9,100人以上の方々が参加した。</p> <div data-bbox="165 1018 1245 1417" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>クリーン作戦参加者</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>10,400</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>9,200</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>8,900</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>10,100</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9,100</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	参加人数(人)	H21	10,400	H22	9,200	H23	8,900	H24	10,100	H25	9,600	H26	9,100	<p>河川レンジャー等と連携した環境学習やクリーン作戦が継続的に行われている。</p> <p>今後も河川に係わる人材育成の支援や、NPO等と連携した環境学習の場を提供していくなど、取り組みを進めていく必要がある。</p>
年度	参加人数(人)														
H21	10,400														
H22	9,200														
H23	8,900														
H24	10,100														
H25	9,600														
H26	9,100														

川らしい利用の促進

【観点】陸域・水域移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取り組み状況(川らしい河川敷利用)

「指標」河川保全利用委員会の取り組み内容・回数(河川環境と指標が重複)

【河川保全利用委員会の開催状況】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的として、平成16年度から委員会による議論を実施している。木津川下流については、委員会を1回実施している。

平成26年度審議対象における代表的な意見

- ・冠水頻度が多いため、費用節減のためにも冠水頻度の少ない場所への施設の移行も検討されたい。
- ・環境学習の出来る場所として大いに利用していただきたい。但し、過剰利用には注意されたい。
- ・スポーツ利用の方に自然観察ゾーンの存在や環境の様子に関して周知し、誘導することで、河川らしい利用を推進していただきたい。



委員会状況



現地視察状況



利用状況

木津川下流保全利用委員会 <http://hozen-riyou.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/kizurv/kizurv.html>

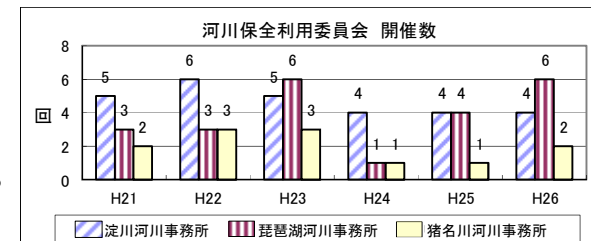
進捗状況

(平成26年度の取組)

平成26年度は、河川保全利用委員会を淀川河川事務所では4回、琵琶湖河川事務所では6回、猪名川河川事務所では2回の計12回開催しており、公園等施設の更新において、以下のような意見をいただいた。

- ・占用者、利用者、河川管理者、市民の4者が望ましい河川占用について環境面から意見を述べ、情報共有を図ること。
- ・河川敷での公園利用を河川管理者が許可するにあたり、占用者、委員、河川管理者が河川の環境面にも配慮した保全利用の観点から審議を行った。
- ・野洲川左岸の高水敷を占用している「野洲川ふれあい広場」の許可期限が平成27年3月31日、また「野洲川川田河川公園」の更新期限が平成28年9月30日であることに伴い、河川保全利用委員会において更新許可の妥当性について審議した。
- ・守山市が計画する親水公園の整備について、河川環境の保全・再生を重視する観点から占用許可の妥当性を審議した。

点検項目「流域管理に向けた継続的な施策展開」の[指標]河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容・河川保全利用委員会開催数と重複掲載



点検結果

川らしい河川敷利用に向け、河川保全利用委員会の意見を踏まえた取り組みが進んでいる。

今後も周辺環境・地域特性を考慮しつつ、川らしい河川敷利用に向けて取り組んでいくものとする。

川らしい利用の促進

【観点】陸域・水域移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取り組み状況(川らしい河川敷利用)

「指標」違法行為の是正内容・不法耕作面積(河川環境と指標が重複)

【不法耕作の是正事例】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内の河川敷には、許可を受けずに設置された不法工作物や民有地以外で許可を受けていない不法な耕作が数多く存在する。淀川河川事務所ではこのような河川敷で行われている不法な工作物設置・耕作等の行為は、違法行為是正実施計画を作成し計画的な是正に努めている。木津川下流における不法耕作面積は約11万m²となっている。



是正前

不法耕作
是正の事例



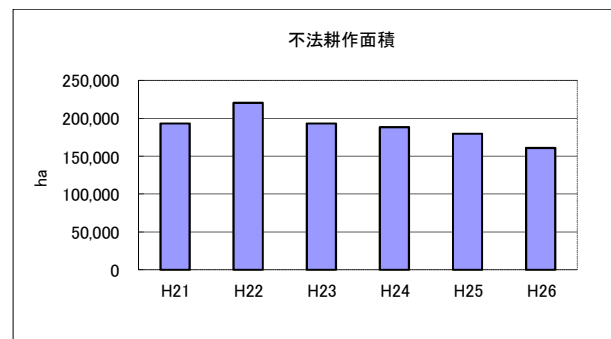
是正後

進捗状況

(平成26年度の取組)

平成26年度の不法耕作面積は約16万m²となり、減少傾向となっている。

点検項目「多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承」の[指標]河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数と重複掲載



点検結果

不法耕作に対する現地指導等により、不法耕作面積は着実に減少している。

今後も不法耕作、及び不法工作物に対し継続した是正の取り組みを行っていく。

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」バリアフリー化の内容・実施箇所数(人川と指標が重複)

維持管理上の観点から管理用通路等を整備することで進捗を図ることとしており、維持管理上は既存施設の老朽化によるメンテナンスを優先したことから、平成26年度は木津川では進捗無し。

進捗状況	点検結果																																				
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>平成26年度はトイレは4箇所設置、2箇所撤去し、84箇所が存在している。スロープの更新はなかった。更新したトイレは、平成25年度出水による被害により撤去した場所に再設置した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="62 730 654 1157"> <p style="text-align: center;">トイレの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>トイレの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>92</td></tr> <tr><td>H20</td><td>94</td></tr> <tr><td>H21</td><td>93</td></tr> <tr><td>H22</td><td>93</td></tr> <tr><td>H23</td><td>93</td></tr> <tr><td>H24</td><td>93</td></tr> <tr><td>H25</td><td>84</td></tr> <tr><td>H26</td><td>88</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="676 730 1294 1157"> <p style="text-align: center;">スロープの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>スロープの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>13</td></tr> <tr><td>H20</td><td>15</td></tr> <tr><td>H21</td><td>15</td></tr> <tr><td>H22</td><td>15</td></tr> <tr><td>H23</td><td>15</td></tr> <tr><td>H24</td><td>18</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>点検項目「日常からの川と人のつながりの構築」の〔指標〕バリアフリー化の内容・実施箇所数と重複掲載</p>	年度	設置数	H19	92	H20	94	H21	93	H22	93	H23	93	H24	93	H25	84	H26	88	年度	設置数	H19	13	H20	15	H21	15	H22	15	H23	15	H24	18	H25	18	H26	18	<p>河川内で子どもや高齢者でも安心して利用でき、多くの人が気軽に集うことができる場となるよう、トイレを92箇所、スロープを18箇所設置していたが、利用者からトイレについては「臭い、汚い」との意見が多いため、平成22年度以降は昭和56年度以降に設置されたスチール製トイレを簡易水洗式のFRP製トイレに更新している。また、平成25年9月出水等により、使用できなくなったトイレについては順次更新・修理していくこととしている。</p> <p>今後も安心して、気軽に利用できる場として整備を進めるとともに、施設整備にあたってはバリアフリー化を進める。</p>
年度	設置数																																				
H19	92																																				
H20	94																																				
H21	93																																				
H22	93																																				
H23	93																																				
H24	93																																				
H25	84																																				
H26	88																																				
年度	設置数																																				
H19	13																																				
H20	15																																				
H21	15																																				
H22	15																																				
H23	15																																				
H24	18																																				
H25	18																																				
H26	18																																				

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」水辺の整備内容

【過去の水辺の楽校整備事業における整備内容事例】

【三本松水辺の楽校】(平成22年度完成)

恵まれた自然と道の駅に隣接する立地条件を活かし、子供の安全な環境学習や川遊びの場を提供するとともに、散策路を設け、道の駅に訪れる観光客や周辺住民の憩いの場として三本松地区水辺の楽校を整備した。



地域の子供達の川遊びの場、道の駅に訪れる観光客や周辺住民の散策や憩いの場として利用されている。



子どもの水辺サポートセンター

三本松水辺の楽校: <http://www.mizube-support-center.org/cgi-bin/database/database.cgi?cmd=dp&num=256>

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」水辺の整備内容

【過去の水辺の楽校整備事業における整備内容事例】

【笠置水辺の楽校】(平成22年度完成)

自然の状態を出来るだけ保全、あるいは再現しながら、子ども達が自然と出会うより安全な水辺をつくり、環境学習の場、自然体験の場、地域の水辺を遊びの場などとして活用していくこととして笠置地区水辺の楽校を整備した。



平成26年度には、教育委員会主催のカヌー教室が計3回開催され、地元の小中学生が69名参加した。



子どもの水辺サポートセンター

笠置水辺の楽校: <http://www.mizube-support-center.org/cgi-bin/database/database.cgi?cmd=dp&num=268>

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」水辺の整備内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度の実施)</p> <p>自治体・教育関係者・市民団体・木津川上流河川事務所等で連携し、水辺の楽校を遊びの場、自然体験の場、環境学習の場として利用することとしており、笠置地区では小中学生を対象にカヌー教室が計3回開催され、69名の参加があった。</p>	<p>人々が水辺に親しみ近づくことのできる環境整備が進められている。</p> <p>今後も、引き続き地域の方々や河川レンジャー等の意見を聴きながら、その地域に応じた水辺の整備を進めていく。</p>

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

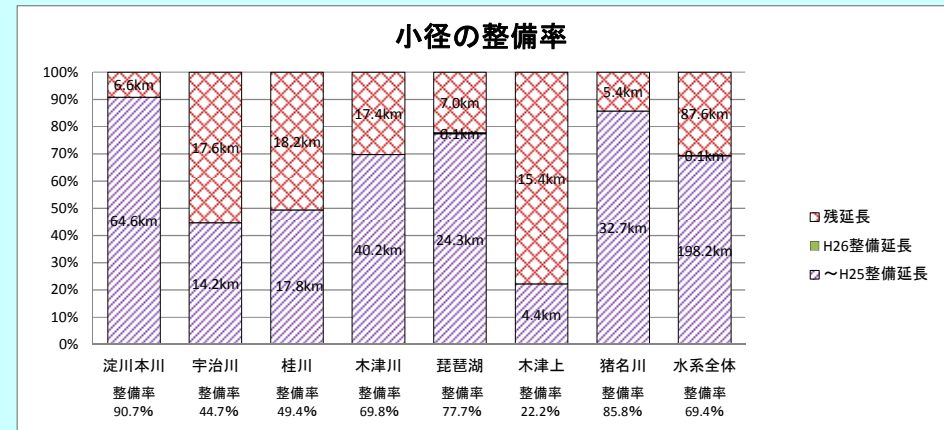
「指標」小径(散策路)の整備内容・延長(人川と指標が重複)

小径については、堤防強化における天端舗装や維持管理上の観点から管理用通路等を整備することで進捗を図ることとしており、平成26年度は木津川で堤防強化による天端舗装等は実施したが、既に小径となっていた箇所であることや、維持管理上も既存施設の老朽化によるメンテナンスを優先したことから、木津川では進捗無し。

ただし、これまでの整備により木津川では44.6kmの小径整備を実施している。

【小径の全体計画について】

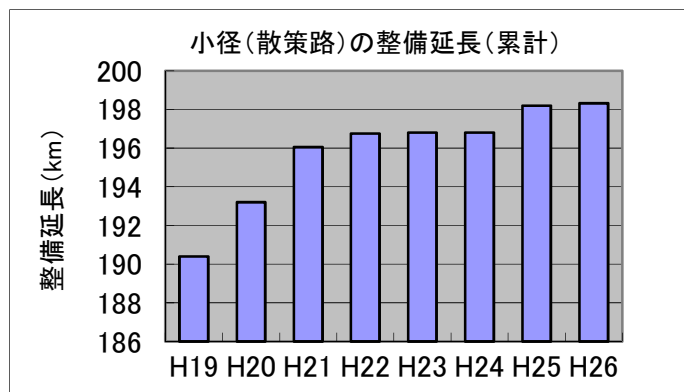
小径については、歩行者等が河川に沿って容易に移動でき、安全に水辺に近づける施設として、「河川区域内で歩車分離され、舗装済みで円滑に通行できるもの」と定義し、緊急用河川敷道路や河川管理用通路を小径として位置づけており、平成26年度までの水系全体の整備率は69%となり、残区間が87.6kmとなっている。



進捗状況

(平成26年度の取組)

平成26年度は小径(散策路)を0.11km整備した。全体計画285.9kmのうち、平成26年度末までに198.31km(整備率69%)が整備済であり、残区間は87.6kmとなった。



点検項目「日常からの川と人のつながりの構築」の[指標]小径(散策路)の整備内容・延長と重複掲載

点検結果

今後も、各整備箇所の特徴を考慮した整備内容を検討し、推進を図り、川とまち・地域間の水辺のネットワークの形成に努めるとともに、関係機関と広域的な水辺の散策路ネットワークについても調整を図り、利用者の視点に立った活用促進方策について検討していく。

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」迷惑行為の是正内容・対策箇所数

維持管理上、既存施設の老朽化によるメンテナンスが必要な箇所も多く、そのメンテナンスを優先したため、平成26年度は木津川では進捗無し。

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度 of 取組)</p> <p>平成26年度は、バイクの乗り入れを規制する車止めを15箇所(淀川本川3箇所、桂川1箇所、瀬田川11箇所)設置した。</p>	<p>バイク走行に対する規制及び車止め設置等の取り組みが実施され河川利用者、あるいは近隣住民の安全性が向上している。</p> <p>今後も迷惑行為の是正に向け、関係機関と連携し規制やマナーの向上等に取り組んでいく。</p>

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」ホームレス対応内容・確認数

【ホームレス実態調査】

【淀川河川事務所】

ホームレスの正確な状況 把握・指導による是正事例

自治体福祉部局との連携



木津川左岸 25K+10m 木津川市木津地先(泉大橋下)

淀川河川事務所管理区間では、

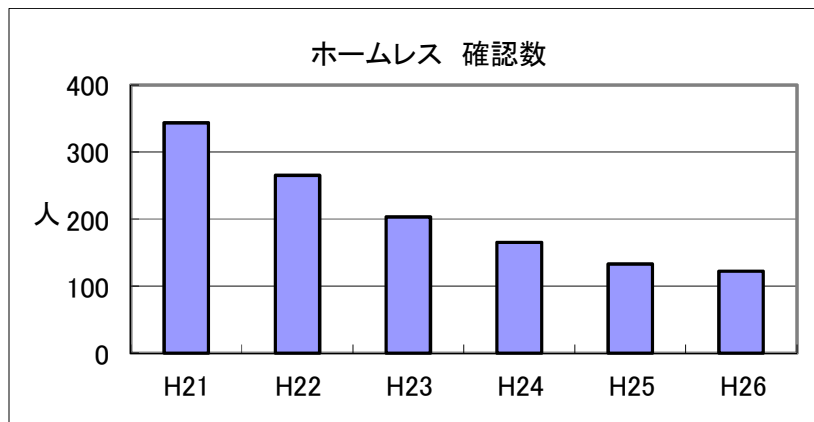
- 平成21年度末 324人(木津川下流5人)
- 平成22年度末 248人(木津川下流3人)
- 平成23年度末 188人(木津川下流2人)
- 平成24年度末 155人(木津川下流1人)
- 平成25年度末 126人(木津川下流1人)
- 平成26年度末 117人(木津川下流1人)

淀川河川事務所では広大な河川敷に居住するホームレスに対応するため、通常の河川巡視とは別に「ホームレス対応班」を設置し、定期的な巡回による正確な居住指導実態の把握・指導等を行いホームレスに対する取り組みを強化し、自治体福祉部局との連携を図っている。

進捗状況

(平成26年度の取組)

平成26年度は、122人のホームレスが河川敷に起居していることを確認した。



点検結果

自治体福祉部局との連携によりホームレスの起居数は減少している。

今後も引き続き、自治体福祉部局等関係機関と連携していく。

まちづくり・地域づくりとの連携

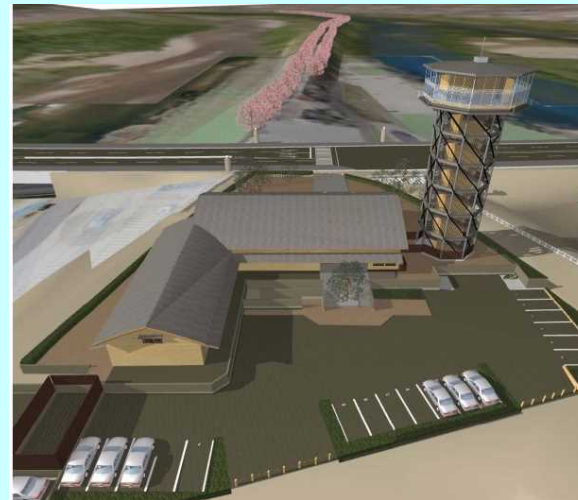
【観点】まちづくりや地域連携の取り組み状況

「指標」三川合流部の拠点の整備内容(人川と指標が重複)

淀川三川交流拠点施設の整備にあたっては、周囲の自然環境との調和や地域の歴史性に配慮したデザインを取り入れた地域間の交流の中核とするために、三川合流域拠点施設検討委員会を開催し、学識経験者や地域の関係者から助言・意見をいただいた。



淀川三川交流拠点の計画地



現時点の淀川三川交流拠点のイメージ図

進捗状況

(平成26年度の取組)

平成26年度は、淀川三川交流拠点施設の整備にあたっては、周囲の自然環境との調和や地域の歴史性に配慮したデザインを取り入れた地域間の交流の中核とするために、三川合流域拠点施設検討委員会を開催し、学識経験者や地域の関係者から助言・意見をいただいた。これらをもとに、平成28年度末拠点施設完成に向け実施設計を進めることとなり、これまで実施してきたイベント等の企画及び実証実験を踏まえ、三川合流域拠点施設完成後の市民団体等による利活用の方針について、平成27年度に三川合流域拠点施設検討委員会にはかる予定。

点検項目「日常からの川と人のつながりの構築」の[指標]三川合流部交流拠点の整備内容と重複掲載

点検結果

「淀川三川合流域地域づくり構想」の実現に向けて、交流活動や関係機関との調整を着実に実施している。

今後さらに「淀川三川合流域地域づくり推進協議会」にて自治体間や地域との連携を深めつつ、「淀川三川合流域地域づくり構想」の実現に向け、三川合流部の整備の具体化に向けて関係自治体・民間事業者等と連携した実証実験・意見交換会を実施し、検討を推進する。

まちづくり・地域づくりとの連携

【観点】まちづくりや地域連携の取り組み状況

「指標」水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容

【南山城村地区かわまちづくりの事例】



南山城村地区かわまちづくり事業(平成23年度完成)では、村の中核施設が集中して隣接している地域に環境学習等のより安全な河川敷利用、水防訓練等多目的な活用を可能とするために河川管理用通路等を整備した。やまなみホール周辺での「京・むらまつり」などの地域住民手づくりによるイベントのメイン会場として、多くの観光客に利用されている。

利活用の状況
(H26.7 京・村まつり 参加者:約500人)



利活用の状況
(H26.9 シクロクロスイベント 参加者:約260人)

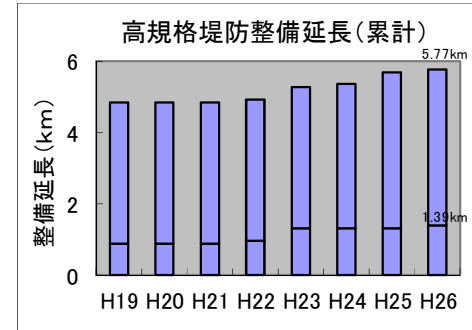


まちづくり・地域づくりとの連携

【観点】まちづくりや地域連携の取り組み状況

「指標」水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>①高規格堤防 平成26年度までに25地区で整備した高規格堤防の整備延長の累計を以下に示す。平成26年度は、大宮地区の0.08kmの盛土整備が完了した。平成26年度までの完成区間及び暫定完成区間の整備延長は5.77km(整備の区間:1.39km)となっており、整備率は6.5%(整備の区間:6.2%)である。* *平成23年2月から12月にかけて「高規格堤防見直しに関する検討会」により整備区間の見直しが議論され、同年12月に「新たな整備区間」が決定された。 見直し後の整備区間(整備の区間)は大阪市の一部及び守口市の一部であり、そのうち1.39km整備済みである。見直し前の整備区間(従来の区間:淀川河口から三川合流部までの89.2km)の整備済み延長を合わせると、合計5.77km整備済みである。</p> <p>点検項目「日常からの川と人とのつながりの構築」の[指標]高規格堤防の整備内容・延長及び点検項目「高規格堤防(スーパー堤防)の整備」の[指標]高規格堤防の整備内容・延長と重複掲載</p> <p>②瀬田川 瀬田川かわまちづくり整備事業では、平成元年より平成26年度にかけて、環境に配慮した護岸や河川管理用通路を整備してきた。 平成27年2月14日に最終整備箇所である橋(南郷ほたる橋)が完成したことにより、瀬田川かわまちづくり整備事業が完了した。 瀬田川散策路の完成を記念し、官・民(商工会議所、地元住民、NPO団体等)連携し、ウォークラリーイベントを開催した。</p> <p>③木津川 南山城村地区かわまちづくり事業で整備した、村の中核施設と一体となったエリアは、地域住民手づくりによるイベントのメイン会場として、多くの観光客に利用されている。</p>	<p>高規格堤防の整備により、超過洪水対策が着実に進められている。</p> <p>整備の区間のうち、地元から強い要望があり、また、まちづくりとの連携がスムーズにでき、大洪水時にも浸水しない広域避難場所等として活用できるなど、地域の防災力向上に資するところ等から優先的に整備していく。</p>



水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数(人川と指標が重複)

水源地域ビジョンは以下のとおり策定済み

天ヶ瀬ダム平成17年、高山ダム平成15年、青蓮寺ダム・比奈地ダム平成16年、室生ダム平成15年、布目ダム平成14年、日吉ダム平成14年、一庫ダム平成15年

【水源地域ビジョンの事例】

【布目ダム水源地域ビジョン(水資源機構布目ダム管理所)】



「目的」

布目ダムでは「水源地域ビジョン策定要綱」(平成13年4月12日 国土交通省)に沿って、地元住民や関係機関等が共同して「布目ダム水源地域ビジョン」を検討し、平成14年3月に策定した。

「布目ダム水源地域ビジョン」では、布目ダムを生かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画として、基本方針や目標像を定め、ソフト対策に重点を置き目標像実現のための具体的な方策を定めている。

「キャッチフレーズ」

布目川がつなぐ 森と人のふれあい空間

「取り組み」

地域内ネットワークの強化
 布目ダムの魅力を高める既存施設等の有効利用
 湖面の積極的な活用
 水源地域や布目ダムに対する関心・親しみ等の向上
 水源林等自然環境の保全と育成
 地域活動を担う人材の発掘、育成

布目ダム水源地域ビジョン

<http://www.watar.go.jp/kansai/kizugawa/nunome/vision/index.htm>

【木津川ダム総合管理所におけるダム施設見学会等の状況】

【木津川ダム総合管理所】

木津川ダム群では、平成26年度は、貯水池周辺清掃を8回、約700人が参加、施設見学会に約4千人が参加された。



比奈知ダム 施設見学会
 300名参加
 (平成26年8月3日)



高山ダム 地元村祭りでのダム施設見学会
 100名参加
 (平成26年11月23日)



布目ダム 施設見学会
 500名参加
 (平成26年7月27日)



室生ダム カヌー体験教室
 170名参加
 (平成26年7月19日～27日のうち6日間)

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(人川と指標が重複)

【ダム水源地の市町村・ダム管理者等による意見交換会】

【木津川ダム総合管理所】

木津川ダム総合管理所では、水源地域ビジョンの実行連絡会を開催し、関係自治体、機関等から平成25年度の実施報告並びに、平成26年度の計画報告が行われた。

・高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会
平成26年12月 5日

・青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実行連絡会
平成26年11月13日

・室生ダム水源地域ビジョン実行連絡会
平成26年 9月10日

・布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会
平成26年 7月18日、平成27年2月26日



青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実行連絡会

水源地域ビジョン実行連絡会の構成機関

高山ダム	青蓮寺・比奈知ダム	室生ダム	布目ダム
機 関 名	機 関 名	機 関 名	機 関 名
南山城村	名張市	宇陀市	布目ダム周辺地域開発協会
奈良市	曾爾村	室生地域事務所	山 添 村
山添村	御 杖 村	大宇陀地域事務所	奈 良 市
伊賀市	津市	菟田野地域事務所	奈良県サイクリング協会
名張市	中知山住民代表	平成榛原子供のもり公園	布目川漁業協同組合
木津川漁業協同組合	青蓮寺住民代表	宇陀市商工会室生支所	
波多野漁業協同組合	上比奈知住民代表	宇陀市観光協会	
月ヶ瀬漁業協同組合	長瀬住民代表	宇陀市森林組合	
五月川漁業協同組合	曾爾村総代会	室生村森林組合	
木津川を美しくする会	御杖村区長会	宇陀川漁業協同組合	
NPO法人 ENJIN	太郎生地区自治会連合会	室生漁業協同組合	
関西電力株式会社 奈良支店	伊賀森林組合	室生連合自治会	
	名張川漁業協同組合	榛原連合自治会	
	青蓮寺川香落漁業協同組合	大宇陀連合自治会	
	長瀬太郎生川漁業協同組合	菟田野連合自治会	
	名張商工会議所		
	宇陀商工会		
	曾爾村森林組合		
	曾爾村漁業協同組合		
	御杖村森林組合		
	御杖村漁業協同組合		
	特定非営利活動法人 地域と自然		
	中勢森林組合		
オブザーバー			
京都府	三重県	奈良県	奈良県
三重県	津地域防災総合事務所	国土交通省近畿地方整備局	国土交通省近畿地方整備局
奈良県	伊賀地域防災総合事務所		
国土交通省近畿地方整備局	奈良県		
	国土交通省近畿地方整備局		
ダム管理者			
水資源機構	水資源機構	水資源機構	水資源機構

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(人川と指標が重複)

進捗状況	点検結果																																				
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>平成26年度は、水源地域ビジョンの取り組みとして、貯水池周辺清掃に約1,300人(20回開催)、施設見学会に約4万4千人が参加している。(水源地域ビジョン策定年:天ヶ瀬ダム平成17年、高山ダム平成15年、青蓮寺ダム・比奈地ダム平成16年、室生ダム平成15年、布目ダム平成14年、日吉ダム平成14年、一庫ダム平成15年)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="107 491 452 778"> <table border="1"> <caption>貯水池周辺清掃</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25回</td> <td>約800</td> </tr> <tr> <td>21回</td> <td>約850</td> </tr> <tr> <td>19回</td> <td>約800</td> </tr> <tr> <td>16回</td> <td>約950</td> </tr> <tr> <td>20回</td> <td>約1,300</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="564 491 927 778"> <table border="1"> <caption>施設見学会</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>約70,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>約55,000</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>約48,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>約42,000</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>約45,000</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1048 491 1384 778"> <table border="1"> <caption>ホテル鑑賞会</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>約50</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>約55</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>約150</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>約10</td> </tr> <tr> <td>0回</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>※ホテル観賞の場として定着したため、H26年度から鑑賞会は実施していない。</p> <p>また、平成26年度の個別の取組としては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天ヶ瀬ダムでは、今年度竣工50周年を記念して、宇治市、宇治市観光協会、宇治観光ボランティアガイドクラブ、宇治市歴史資料館と協業しながら記念式典、記念ダムツアー、写真コンテスト、写真展の開催を行った。 天ヶ瀬ダムでは、併せて毎年行っている宇治観光ボランティアガイドクラブとともに、天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用していただくことを目的とした協働事業における施設見学を実施した。 青蓮寺ダムにおいて、ダム湖に流入した流木の有効活用として薪化し、関係機関、地元地区への配布を実施した。(11月～3月) 青蓮寺ダムにおいては、「名張クリーン大作戦」(6月)、「青蓮寺川河川清掃」(6月)、「青蓮寺湖クリーンハイキング」(2月)に参加し環境保全活動実績として水源地域ビジョン実行連絡会へ報告した。また、一般の方に青蓮寺ダムのことを知っていただくために、夏休み期間中、施設見学会を13回実施した。 木津川ダム群において、水源地域ビジョンの実行連絡会を5回開催し、関係自治体、機関等が平成25年度の実施報告並びに平成26年度の計画報告を行った。また、各ダムにおいて施設見学会を実施した。 日吉ダムにおいて、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(7月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の清掃活動を実施した。 一庫ダムにおいて、水源地域ビジョン推進協議会による廃棄物の有効活用やゴミの減量への意識を高める事を目的に、ダム湖に流入した流木を利用した「美しい猪名川 流木ペインティング大会」を実施した。(7月) 比奈知ダムでは、平成19年度～平成25年度までホテル鑑賞会を実施した結果、一般の方々にホテル鑑賞の場所として定着したことにより、当初の目的を達成したため、H26年度から鑑賞会をとりやめた。 <p>点検項目「上下流の連携の構築」の[指標]水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数と重複掲載</p>	開催回数	参加人数(人)	25回	約800	21回	約850	19回	約800	16回	約950	20回	約1,300	開催回数	参加人数(人)	H22	約70,000	H23	約55,000	H24	約48,000	H25	約42,000	H26	約45,000	開催回数	参加人数(人)	1回	約50	1回	約55	1回	約150	1回	約10	0回	0	<p>水源地域ビジョンを策定し連絡会等により各施策が実施され、各行事には多数の参加者が訪れている。</p> <p>また、ダム周辺では施設整備が進められ利用者の利便性が向上するとともに、湖面利用の促進に取り組んでいる。</p> <p>今後も関係機関と連携しダム施設見学会、ダム湖周辺におけるマラソン大会、水源地域の植林活動、間伐材の利用促進、水質保全対策の実施や不法投棄対策の実施など水源地域ビジョンの取り組みを継続的に推進する。</p> <p>また、ダム周辺施設の整備や湖面利用促進策を進めていく。</p>
開催回数	参加人数(人)																																				
25回	約800																																				
21回	約850																																				
19回	約800																																				
16回	約950																																				
20回	約1,300																																				
開催回数	参加人数(人)																																				
H22	約70,000																																				
H23	約55,000																																				
H24	約48,000																																				
H25	約42,000																																				
H26	約45,000																																				
開催回数	参加人数(人)																																				
1回	約50																																				
1回	約55																																				
1回	約150																																				
1回	約10																																				
0回	0																																				

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」ダム周辺の施設整備内容

木津川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度 of 取組) 平成26年度は施設整備工事は実施していない。</p>	<p>利用者の利便性を向上させるため、ダム周辺の施設整備を着実に進めている。</p>

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」湖面活用促進の取り組み内容・活用数



高山ダム：村祭りでのボートによる湖面見学会(11月)



青蓮寺ダム：カヌーによる湖面探索(7月)



室生ダム：子供の森カヌー教室(7月)



布目ダム：布目ダム湖釣り大会(9月)

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」湖面活用促進の取り組み内容・活用数

進捗状況	点検結果
<p>(平成26年度の取組)</p> <p>平成26年度の湖面利用では以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山ダム:村祭りでのボートによる湖面見学会(11月) 100名参加 ・青蓮寺ダム:カヌーによる湖面探索(7月) 50名参加 ・室生ダム:子供の森カヌー教室(7月) 180名参加 ・布目ダム:布目ダム湖釣り大会(9月) 400名参加 ・日吉ダム:釣り大会(6,7,9,10,11,12月) 130名参加 <li style="padding-left: 20px;">:天若アートプロジェクト(12月) 24名参加 <li style="padding-left: 20px;">(天若アートプロジェクト(8月)は台風による出水のため中止となったが、12月に別の形で実施された。) 	<p>ダム周辺の施設整備により利用者の利便性が向上し、ダムの湖面利用のカヌーや見学会等が継続して開催されている。</p>